

事業名：先端半導体の国内生産拠点の確保

論点 1 事業目的を踏まえ、適切な成果目標の設定について検討すべき。

- 長期アウトカムへのつながりが分かるよう、中期アウトカムの設定などを検討し、本事業が長期的な成果にどのようなつながっていくかの道筋を明確に示すべき。
- 半導体関連の市場全体における国内生産の売上額を長期アウトカムとして設定しているが、本事業の支援対象がその一部だとすれば、本事業による効果を検証できるよう、本事業の分野に対応した成果目標の設定を検討すべき。
- 例えば、「2030年15兆円(国内生産の売上総額)」を実現するためにはどのくらいの投資額が必要になるか、そのためには本事業でどのくらいの支援が必要になるかといったバックキャストの考え方により、成果目標を設定できないか検討すべき。

論点 2 本事業の進捗を評価・確認していくべき。

- 本事業の効果検証の結果や、経済安全保障の観点から、米国等における政府補助の規模感なども踏まえ、今後必要な基金の額や支援規模の検討を行うべき。
- 成果目標を踏まえた事業終期の設定などを検討し、民間の事業として自立化を促進できるような仕組みを示していくべき。